

# ほほえみ

01 12 09

世界に、私たちの生活の中にいろいろなことが起きた  
2001年がまもなく暮れます。

暗いニュースが多い中で女性の活躍が目立った年でも  
ありました

雅子さまが新宮さま愛子さまをご出産、外務省役人の  
伏魔殿と闘う田中真紀子大臣、マラソン世界記録を出  
した高橋尚子選手、一方で勘違いの活躍、野村沙千代  
なんて人もいました。

そういえば医療の世界でも女性の活躍が急増している  
そうです。厚生労働省の最新のデータによると  
現在国内の医師の数は男性20万人女性3万人ですが  
20代をみると30%、3人に1人が女性だそうです。  
子供達にとって優しい女性の先生が増えてくれるのは  
うれしいだろうし、病院の雰囲気やイメージが変わる  
かもしれません。

## <第78回 ほほえみの会>

堀越先生をはじめ9人が参加しました。いずれも退院をした方で治療後の  
問題が話題となりました。

また、患者本人の会「PIAA」(ピア)が発足しました。

▽ 小学4年の男の子。退院して1年半2ヶ月に1回の通院。体育もやるし  
ドッチボールクラブにも入っていて元気。スポーツが出来る姿をみると  
うれしいがいつ体調を崩さないかと心配は尽きない。学校に理解のない  
先生がいる。

▽ 小学1年女の子。背が伸びない。成長ホルモンを打つことにする。  
中学2年の女の子。成長ホルモンを打って背が20センチ伸びた。  
人間の体の成長ホルモンは夜10時から11時頃に一番でるので12時  
過ぎに寝るとあまり成長しない。「寝る子は育つ」は本当の話のようです。

▽ 病院には年に1回通院して血液検査をやるだけだが常に病気のことは気になる。先日転んで歯を折った。翌日から高熱がでた。熱が下がっても頭が痛い。元の病気で頭が痛いのではないかと心配した。近くの病院で診てもらったところ転んだときに首をひねってむち打ち状態になったことから熱がでたことがわかる。原因が分かり本人の表情も変わる。親も安心。

入院中は薬で肝臓障害を起こしたし、放射線で急性膵炎にもなった。

体調が悪いとそれが原因かとも思う。

子供の病気を見つけるのは親だと思うから体の観察をしっかりしているが、何か異常があるときにこども病院に連絡した方がいいかどうか迷う。連絡して風邪だったでは申し訳ない。

近くに普段の様子を見てくれる先生がいると安心。

▽ 予防接種も話題となりました。

臍帯血移植をしたので予防接種を全て最初からやらなくてはいけない。

3年経ったので先生はやって良いというが接種がもとで前の病気にならないか心配。

堀越先生一病院では予防接種外来の先生が診てくれるので相談を。

また医師も今までは治療に一生懸命だったがこれからは身体面、心理面での後遺症を考えて治療にあたるようになる。

最近「白血病治療終了後の外来管理」というレポートを雑誌「小児内科」の中で書いた。レポートでは治療後は骨折しやすくなる、肥満になりやすくなるなどの晩期障害や入院したあとの登校の難しさなどの現状を述べ、医療者の支持の必要性を説いている。

その中で予防接種の優先順位は

①水痘②はしか③DPT3種混合④インフルエンザ⑤日本脳炎⑥おたふくかぜ⑦BCG⑧風疹 となっている。

～良いお年をお迎え下さい～

次回は 1月13日(日) 11時からです

ほほえみの会 代表 池田恵一 TEL054-247-9560

E-mail klikeda@nifty.com

ホームページ <http://village.infoweb.ne.jp/~hohoemi/>